

(仮) 普天間公園の規模についての若手の会の考え

平成 19 年 3 月現在

【(仮) 普天間公園における役割を考えてみると...】

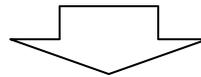
普天間飛行場の跡地だけでなく、宜野湾市全体で見たときのシンボルとしていく必要がある。

広域的な防災拠点としての役割がある。

面的に広がっている大きな水盆や基地内の緑を守る役割がある。

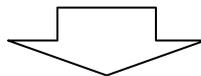
今は那覇市や北谷町などに素通りされてしまっている状況であるため、(仮)普天間公園を宜野湾市にアクセスさせるための目玉としていく必要がある。

また、人が集まることにより公園周辺の商店街等の発展も期待される。



【(仮) 普天間公園の規模は...】

上記のような役割や、沖縄県広域緑地計画の目標としてある「将来市街地面積の 30% 以上にあたる緑地を確保する」といったことを踏まえると、魅力的な公園をつくる上で必然的に 100ha 程度は必要になってくる。



【整備にあたっては...】

100ha 規模の公園を整備し、継続的に管理していくためには、国営公園としていくことが必要である。

公園の具体的な位置や機能については、既存の緑や水盆、文化財の分布や、樹木を植える際に考慮すべき土質の状況、接收前の集落の分布状況等を考慮し、決定していく必要がある。